



石口 茂子

ISHIGUCHI SHIGEKO

1949年 柏崎市出身
2019年 まめカフェをオープン

今年4月、市内松美の住宅地の中に新しくオープンした「まめカフェ」。豆が大好きというオーナーの石口茂子さんは小学校の養護教諭を長年勤め上げ、定年後ちょうど70歳の誕生日を迎える頃カフェを始めた。

年齢を聞いて驚く方も多いと思うが実際にカフェで石口さんにお会いすると、年齢を感じさせない身のこなしと知識の豊富さ、趣味の多さに誰もが感心してしまう。

その一端がまめカフェでいただけるランチだ。石口さんおまかせの日替わりランチは野菜がたっぷり。週2回通っている畑で育てた自家野菜をふんだんに使ったサラダやズッキーニのチーズ焼き、旬のアジを使った南蛮漬けなどバランスのよい食事がいただける。デザートはふわふわのフレチーズケーキ、サービスで提供される甘酒ももち米と糎で作った自家製。料理に使用する小麦粉は国内産、油は米油というふうに調味料もできるだけ手作りで安全なもの、無農薬や有機栽培で作られたものを使用するというのも石口さんのこだわりだ。

宣伝は一切していないそうだが、人づてに「まめカフェ」を知った人が次々に

訪れ、12席の店内は偶然居合わせた人達でいつの間にか和気あいあいとした雰囲気になっていくのがなんとも心地良い。

ふと店内を見渡すとテーブルには石口さんが作ったミニ盆栽、木彫りのトレーやコースター、山ブドウやクルミの木の皮で編んだ籠バックが飾られている。他にも洋裁や手織りが好きで、陶芸で制作した皿はランチで活躍している。手づくりすることが好きで人一倍好奇心旺盛な石口さんは退職後に習い事を始め、そこで知り合った方たちとの出会いから趣味が広がっていったという。

そもそも、石口さんがカフェを始めようと思ったきっかけは、地域にお茶のみの場所を作りたいと思ったことだった。お茶を飲んだりおしゃべりする場所がほしいよね、という60代70代の方たちの声を受け、空いていた自宅車庫2階の貸住居を改装してカフェにしようと思いついた。そうすれば自分も楽しめるし、訪れる人たちの情報交換の場にもなると、2か月ほどの間に保健所への申請や手続き、備品や椅子はインターネットを使って調達、テーブルやカウンターは設備や材木を扱う会社に依頼して製作するなど多くの方々の協力を得ながらオープンにこぎつけた。

開店当初はケーキやコーヒーなどの軽食を提供したが、もっと長く居たい食事もしたい、という人たちの声を受けて徐々にスタイルを変えてきた。今後も訪れる方たちの要望を聞きながら盆栽教室、ソーイングカフェ、そば好きが集まる「そばの会」など、皆さんから楽しんでいただけるスペースにしたいと石口さんは話した。



お問い合わせ

まめカフェ

柏崎市松美1-6-38
TEL 090-5504-3270

営業時間 月・火曜
午前10時～午後4時

*席が限られているため予約がおすすめ。

